

**藤岡市地球温暖化対策実行計画  
(事務事業編)**

**2017（平成 29）年度実績報告書**

平成 30 年 12 月

藤 岡 市

# 目 次

第 1 章 計画の概要.....	1
1 計画の期間 .....	1
2 計画の対象範囲.....	1
3 計画の目標 .....	2
第 2 章 温室効果ガスの排出状況 .....	3
1 温室効果ガスの総排出量 .....	3
2 活動別の温室効果ガスについて.....	4
(1) 燃料の使用 .....	4
(2) 電気の使用 .....	6
(3) 廃棄物の焼却 .....	7
(4) その他.....	9
(5) 環境配慮項目（上水道・用紙）の使用量.....	10
3 総括.....	11
4 資料 1 対象施設一覧.....	12
資料 2-1 2017（平成 29）年度活動別温室効果ガス排出量の内訳.....	14
資料 2-2 基準年度活動別温室効果ガス排出量の内訳.....	15
資料 3-1 2017（平成 29）年度所属別温室効果ガス排出状況.....	16
資料 3-2 基準年度所属別温室効果ガス排出状況.....	17

# 第1章 計画の概要

本市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条に基づく地方公共団体実行計画として、「藤岡市地球温暖化対策実行計画（以下、実行計画という。）」を2007（平成19）年9月に策定し、市自らの事務・事業から排出される温室効果ガスの削減に取り組んできました。

現在、2017（平成29）年3月に策定した第3期実行計画に基づき市の事務・事業に対する地球温暖化対策を推進しており、本報告書は、第3期計画の実施状況を取りまとめたものです。

## 1 計画の期間

基準年度を2015（平成27）年度とした、2017（平成29）年度から2021年度までの5年間

## 2 計画の対象範囲

### (1) 対象となる事務・事業（対象施設については資料1参照）

本庁舎及び出先機関を含めたすべての市の組織及び施設等に係る事務・事業を対象とします（指定管理者制度により民間事業者等に管理運営を委託している施設等も含む）。

### (2) 対象となる温室効果ガス

二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）、メタン（CH<sub>4</sub>）、一酸化二窒素（N<sub>2</sub>O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）とします。法律で対象としているパーフルオロカーボン（PFC）及び六フッ化硫黄（SF<sub>6</sub>）については、市の事務・事業からは排出につながる活動がない、あるいは排出量の把握が困難であるため対象外としています。

表1 基準年度の温室効果ガス排出量 {2015（平成27）年度} と排出要因

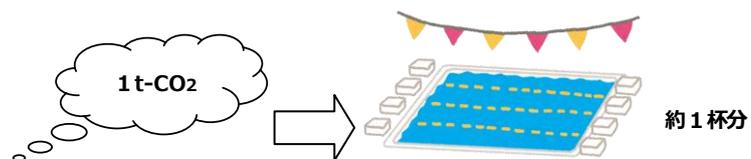
種 類	ガス排出量 (t)	地球温暖化 係数	CO <sub>2</sub> 換算量 (t-CO <sub>2</sub> )	CO <sub>2</sub> 排出量 割合
CO <sub>2</sub> (二酸化炭素) 我が国における温室効果ガス排出量の9割以上を占めている。 要因：化石燃料の燃焼、電気の使用、廃プラスチックの焼却等	16,245	1	16,245	97.32%
CH <sub>4</sub> (メタン) 天然ガスの主成分。有機物が嫌気状態で腐敗・発酵する際に生じる。 要因：自動車の走行、廃棄物の焼却等	0.039	25	1	0.01%
N <sub>2</sub> O(一酸化二窒素) 窒素酸化物。 要因：自動車の走行、廃棄物の焼却等	1.482	298	442	2.65%
HFC(ハイドロフルオロカーボン) 代替フロンとして冷媒等に使用されている。 要因：カーエアコンの使用	0.002	1,430	3	0.02%
計			16,691	100.00%

### 3 計画の目標

基準年度を2015（平成27）年度とし、2017（平成29）年度から2021年度までの5年間で、温室効果ガス総排出量を**毎年1%、5年間で5%以上削減**することを目標としています。

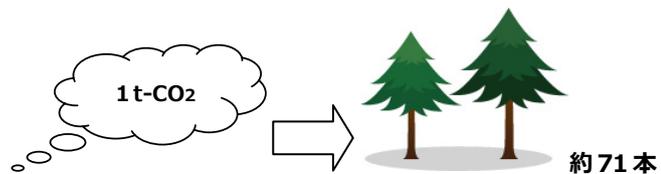
たとえば・・・

温室効果ガス1tの体積は25mプール1杯分とほぼ等しい量となります。



また・・・

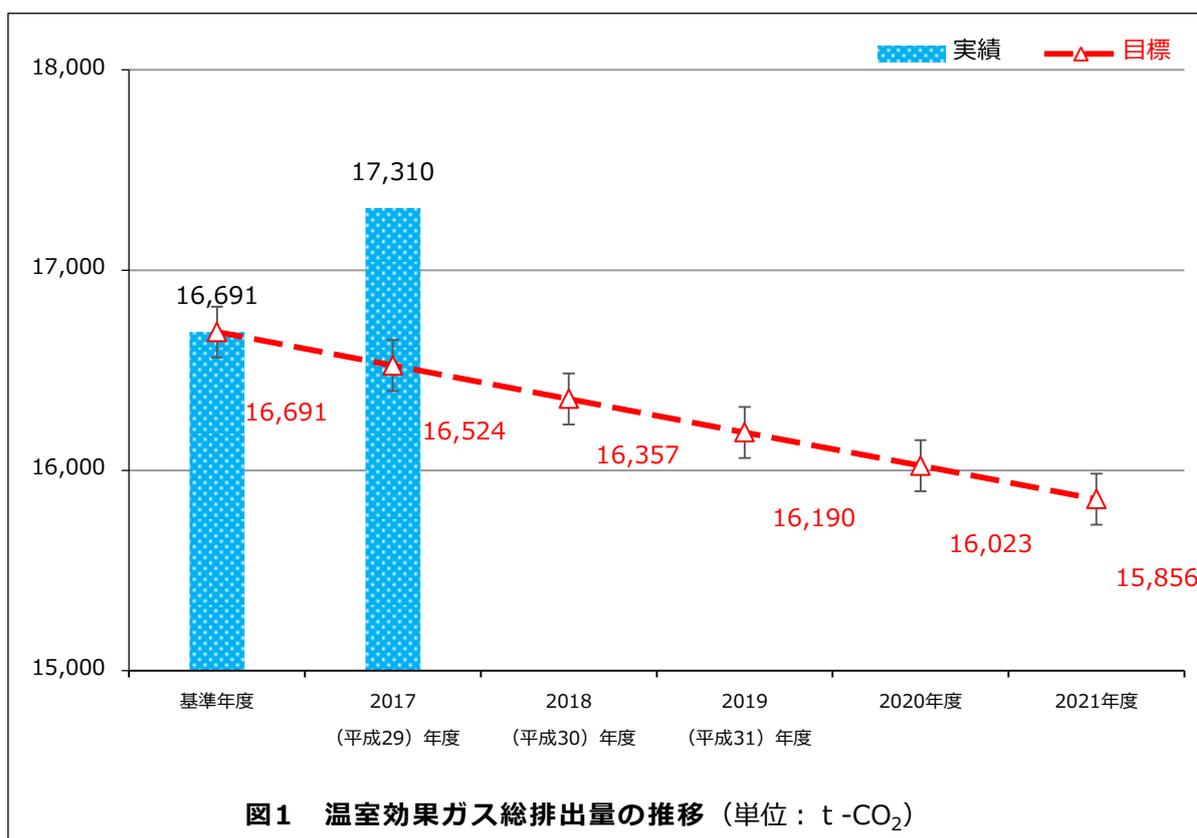
温室効果ガス1tを吸収するためには、杉の木が約71本必要となります。



## 第2章 温室効果ガスの排出状況

### 1 温室効果ガスの総排出量

2017（平成29）年度の市の事務・事業に伴う温室効果ガスの総排出量は**17,310 t-CO<sub>2</sub>**となり、基準年度比で**3.7%（619 t-CO<sub>2</sub>）増加**しました。なお、この増加した温室効果ガスを杉の木が吸収するためには約44,000本必要となります。



温室効果ガス排出量の活動別排出量の推移については表2のとおりとなります。

表2 活動別温室効果ガス排出量の推移 (単位：t-CO<sub>2</sub>)

	基準年度 {2015 (平成27)年度}	2017 (平成29) 年度	増減量	増減率
燃料の使用	2,068	1,933	-135	-6.5%
電気の使用	8,707	8,225	-482	-5.5%
廃棄物の焼却	5,904	7,140	1,236	20.9%
その他	12	12	0	0
合計	16,691	17,310	619	3.7%

## 2 活動別の温室効果ガスについて

### (1) 燃料の使用

燃料の使用による温室効果ガス排出量については基準年度と比較して**6.5% (135t-CO<sub>2</sub>) 減少**しました。(表3)

各項目をみると、A重油、都市ガスにおいて基準年度と比較して減少した一方で、ガソリン、灯油、軽油、LPGは増加しました。

A重油の排出量が減少した主な要因は、旧学校給食センターから新学校給食センターへ移転したことによりA重油を使用しなくなったこと等になります。

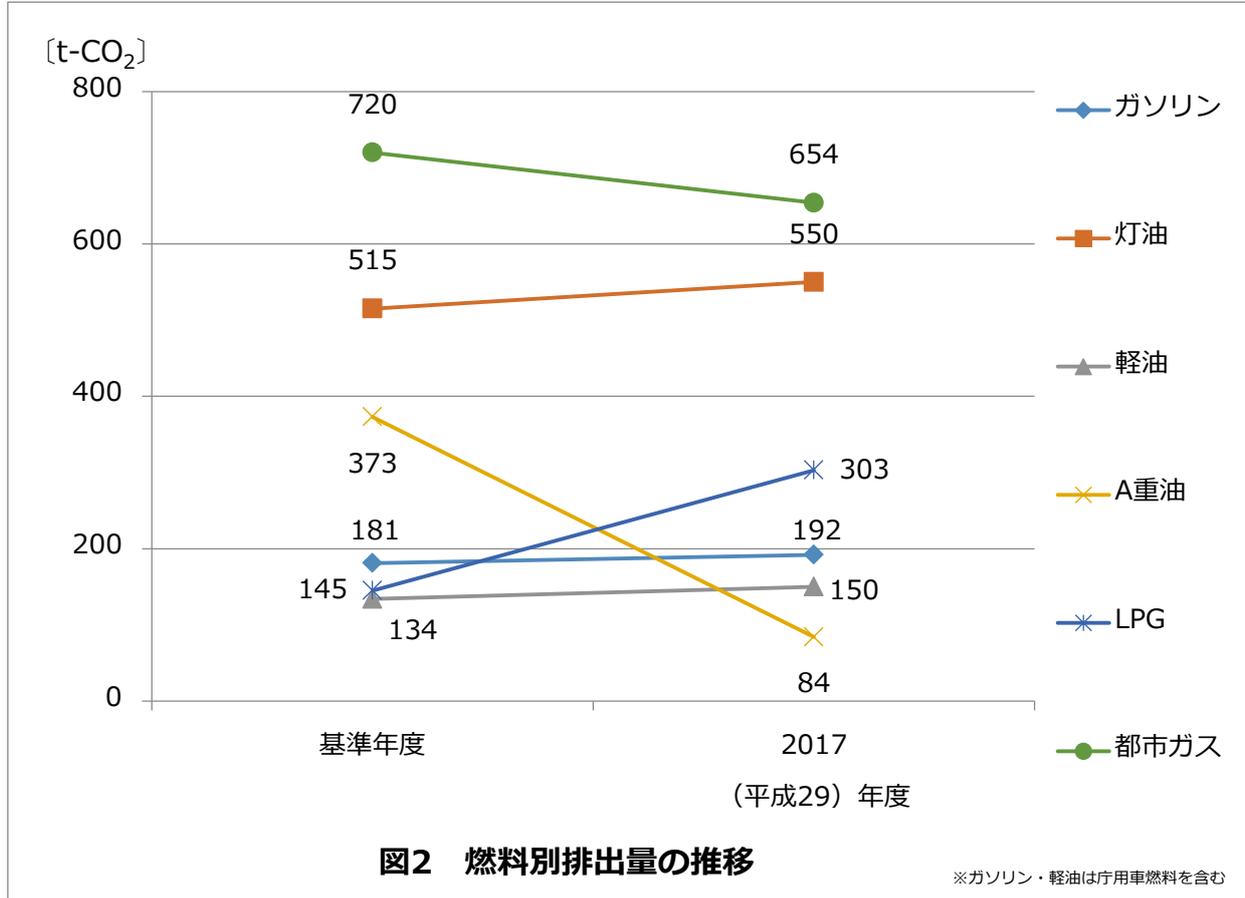
LPGの排出量が増加した主な要因は、新学校給食センターでA重油の代わりにLPGを使用することになったこと等になります。

表3 燃料の種類別温室効果ガス排出状況 (t-CO<sub>2</sub>換算)

	基準年度 {2015 (平成27)年度}	2017 (平成29)年度	増減量	増減率
ガソリン	181	192	11	6.1%
灯油	515	550	35	6.6%
軽油	134	150	16	11.9%
A重油	373	84	-289	-77.5%
LPG	145	303	158	109.0%
都市ガス	720	654	-66	-9.2%
温室効果ガス 排出量合計	2,068	1,933	-135	-6.5%

燃料別の排出量をグラフに示したものは下記のとおりとなります。（図2）

温室効果ガス排出量と同様に、基準年度と比較して都市ガス、A重油以外の全ての燃料において基準年度と比較して増加しましたが、「燃料の使用」の合計排出量は減少しました。



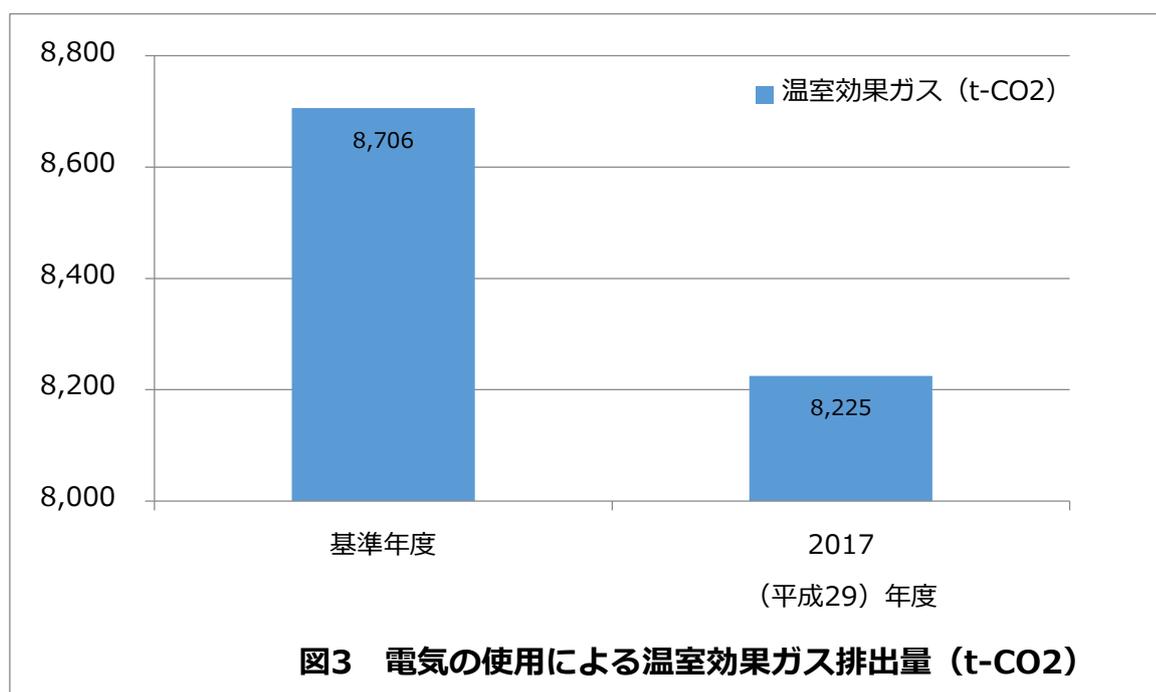
## (2) 電気の使用

電気の使用による温室効果ガスの排出量については基準年度比 **5.5 % (482 t-CO<sub>2</sub>)** 減少しました。

温室効果ガス排出量が基準年度と比較して減少したのは、コミュニティセンターが市管理ではなくなったことや、清掃センターの空調設備の改修をしたことで電気使用量が減少したことが主な原因と考えられます。

表4 電気の使用による温室効果ガス排出量

	基準年度 {2015 (平成27)年度}	2017 (平成29)年度	増減量	増減率
電気の使用による 温室効果ガス 排出量( t-CO <sub>2</sub> )	8,707	8,225	-482	-5.5%



### (3) 廃棄物の焼却

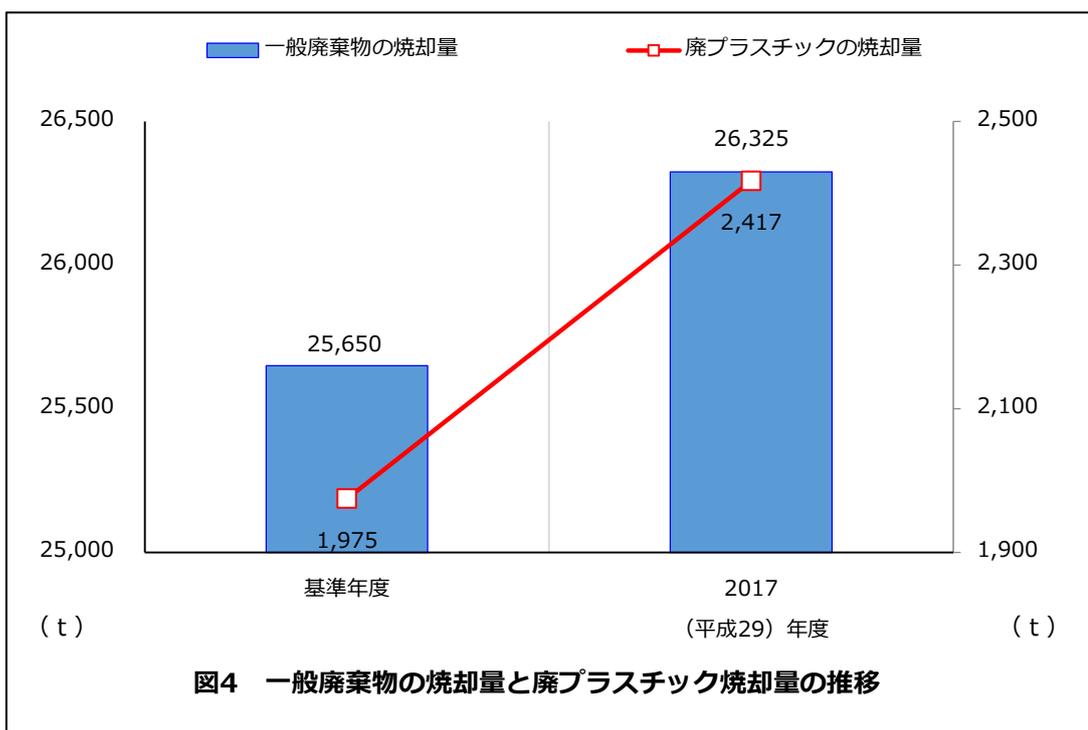
廃棄物の焼却に由来する温室効果ガスの排出量は、基準年度と比較して**20.9% (1,236 t-CO<sub>2</sub>)**増加しました。これは、一般廃棄物の焼却量が基準年度よりも2.6% (675 t) 多かったこと、一般廃棄物に含まれる廃プラスチック (ビニール、プラ容器など) の割合が高かったことが影響していると考えられます。一方で、廃プラスチックは焼却することで発生する熱エネルギーが大きいいため、廃プラスチックを廃棄物燃焼の燃料として活用するサーマルリサイクルに利用している一面もあります。

廃プラスチックの焼却由来の温室効果ガス排出量については、総排出量の4割程度を占めており、温室効果ガスの削減に大きな影響を与えますが、市の事務・事業から排出されるごみの他、一般家庭や事業所などから排出されるごみも算定に含まれるため、市の取り組みだけでは温室効果ガス排出量削減の推進は困難な状況となっています。

表5 廃棄物焼却による温室効果ガス排出量と各種焼却量

	基準年度 {2015 (平成27)年度}	2017 (平成29)年度	増減量	増減率
廃棄物焼却由来温室効果ガス(t-CO <sub>2</sub> )	5,904	7,140	1,236	20.9%

	基準年度 {2015 (平成27)年度}	2017 (平成29)年度	増減量	増減率
一般廃棄物の焼却量 (t)	25,650	26,325	675	2.6%
廃プラスチックの焼却量 (t)	1,975	2,417	442	22.3%



なお、一般廃棄物の中に含まれる廃プラスチックの焼却量は、一般廃棄物焼却量とその一般廃棄物に含まれるプラスチック類比率の2点が大きく影響します。廃プラスチック焼却量は、下図で示す算定方法により、年4回実施されているごみ組成分析結果の水分含有率とプラスチック類比率を基に推計されます。

一般廃棄物焼却量 × (1 - 水分含有率) × プラスチック類比率		
項目	基準年度	2017 (平成29)年度
一般廃棄物焼却量	25,650 t	26,325 t
水分含有率	45.6 %	46.1 %
プラスチック類比率	14.0 %	17.0 %
廃プラスチック焼却量	1,975 t	2,417 t

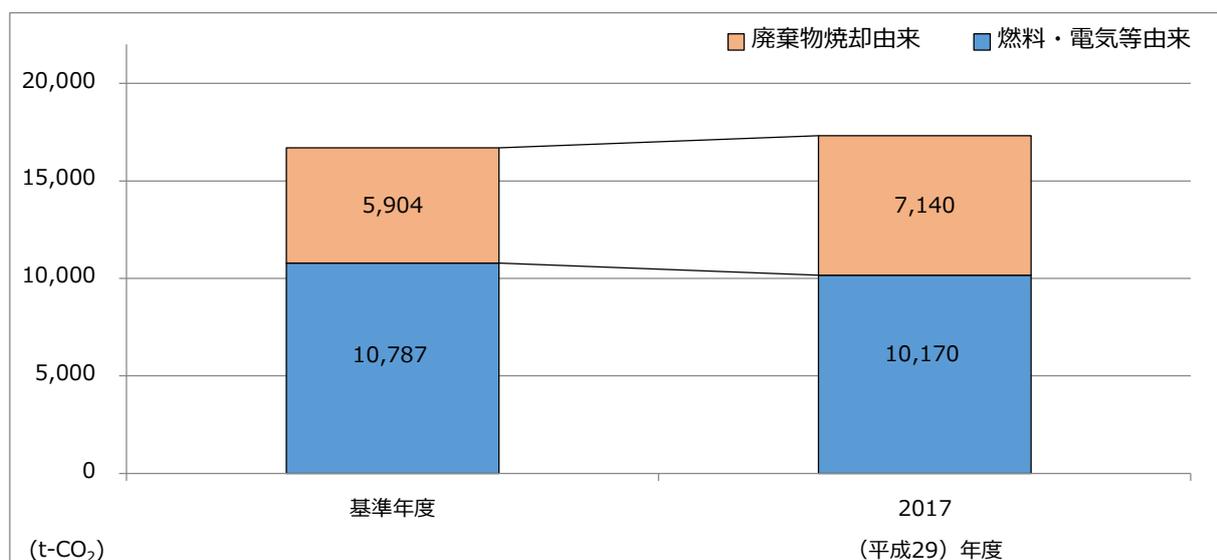
**図5 廃プラスチックの焼却量の算定方法**

温室効果ガスの排出量に最も大きな影響を与えている一般廃棄物（廃プラスチックの焼却を含む）の焼却処分した部分を除いて算定した場合の2017（平成29）年度温室効果ガス排出量は、基準年度と比較して**5.7%減少しました**。表6、図6に示したとおり、温室効果ガスの総排出量は一般廃棄物の焼却由来の排出量に大きく左右されていることが伺えます。

**表6 一般廃棄物の焼却由来の排出量を除いた温室効果ガス排出量**

種類	基準年度 {2015 (平成27)年度}	2017 (平成29)年度	増減量	増減率
燃料・電気・その他	10,787	10,170	-617	-5.7%
廃棄物焼却	5,904	7,140	1,236	20.9%
総排出量	16,691	17,310	619	3.7%

(単位：t-CO<sub>2</sub>)



**図6 温室効果ガス総排出量における由来別排出量の比較**

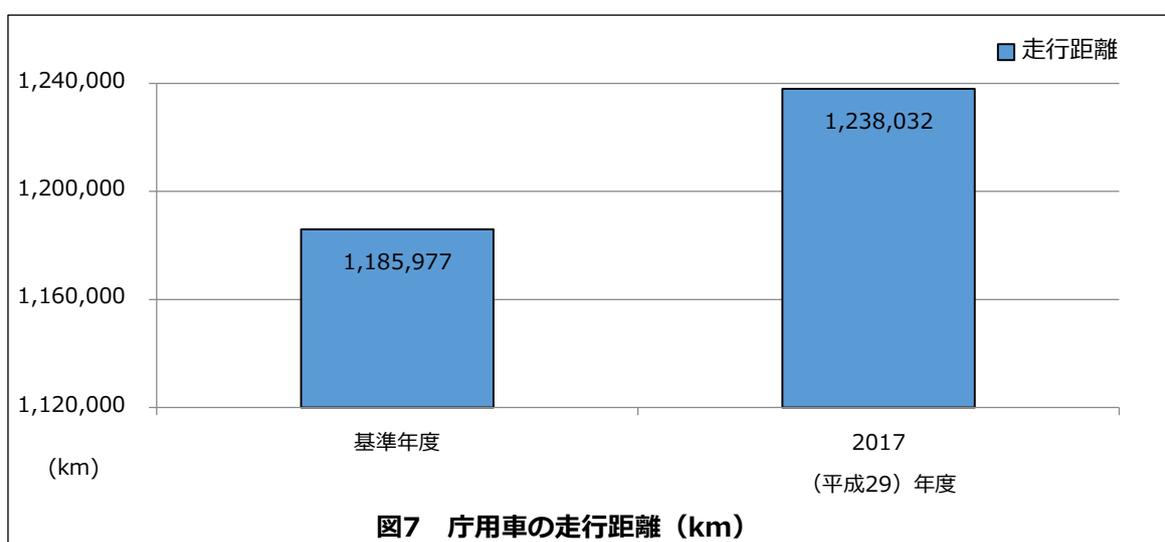
#### (4) その他

##### ① 庁用車走行距離

庁用車の走行距離については、基準年度比で **4.4 % (52,055 km)** 増加しました。

表 7 自動車の走行距離と温室効果ガス排出量

	基準年度 {2015 (平成 27) 年度}	2017 (平成 29) 年度	増減量	増減率
走行距離合計 (km)	1,185,977	1,238,032	52,055	4.4%
温室効果ガス 排出量(t-CO <sub>2</sub> )	9	9	0	0



##### ② その他

カーエアコン搭載車数は 8 台増加しましたが、カーエアコンの搭載車数から算定される温室効果ガス排出量は、基準年度と比較して増減はありませんでした。

なお、笑気ガス (麻酔剤) の使用はありませんでした。

表 8 その他項目

	基準年度 {2015 (平成 27) 年度}	2017 (平成 29) 年度
カーエアコン 搭載車数 (台)	222	230
温室効果 ガス(t-CO <sub>2</sub> )	3	3
笑気ガス (麻酔剤) 使用量 (kg)	0	0

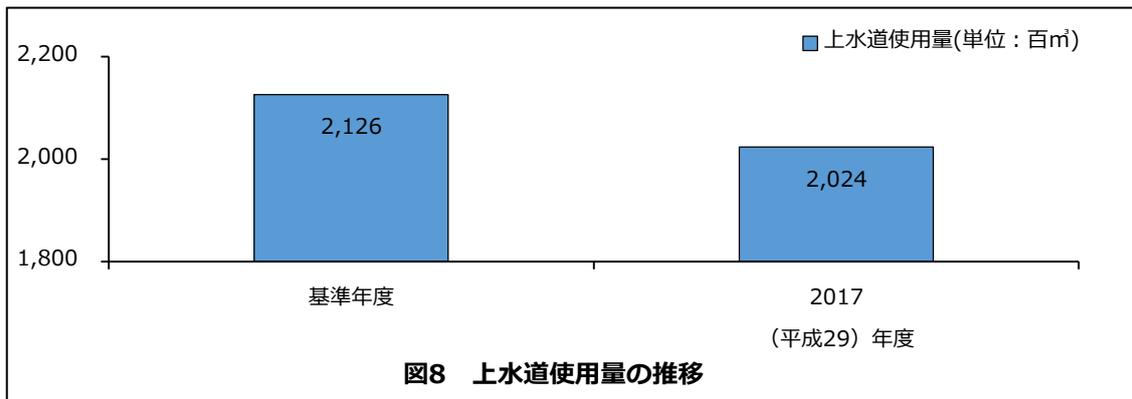
## (5) 環境配慮項目（上水道・用紙）の使用量

### ①上水道使用量

基準年度と比較して**6.0% (12,872 m)** 減少しました。これは、25mプール約51杯分の水道水を削減したことになります。細かな節水の積み重ね等が奏功したことが要因と考えられます。

表9 上水道使用量

	基準年度 {2015 (平成27)年度}	2017 (平成29) 年度	増減量	増減率
上水道使用量 (m)	215,254	202,382	-12,872	-6.0%

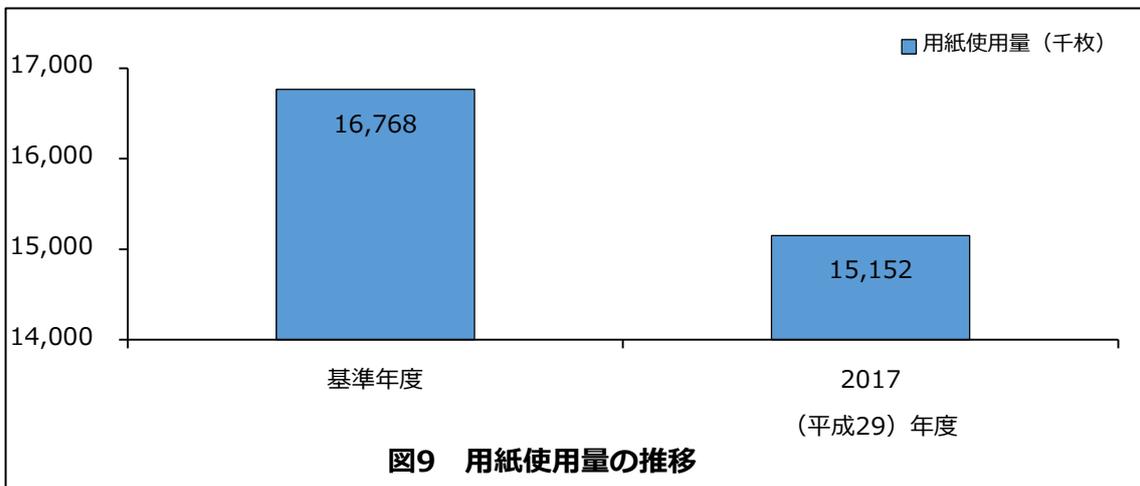


### ②用紙使用量

基準年度と比較して**9.6% (1,616 千枚)** の減少となりました。これは、市で購入しているA4コピー用紙（1箱2,500枚入）約600箱分、使用量が減少したことになります。

表10 用紙使用量

	基準年度 {2015 (平成27)年度}	2017 (平成29) 年度	増減量	増減率
用紙使用量 (千枚)	16,768	15,152	-1,616	-9.6%



### 3 総括

2017（平成 29）年度に策定した「第 3 期藤岡市地球温暖化対策実行計画」に基づき、市の事務・事業に対する地球温暖化対策を推進してきました。

計画の目標としては 2021 年度までに温室効果ガス総排出量を 5%以上削減することとされていますが、2017（平成 29）年度の排出量実績は、基準年度と比較して 3.7%の増加となりました（P3,表 2）。

温室効果ガス排出量の活動別排出量は燃料の使用による温室効果ガス排出量は 6.5%減、電気の使用による温室効果ガス排出量は 5.5%減となりましたが、廃棄物の焼却による温室効果ガス排出量は 20.9%となりました。

電気の使用による温室効果ガス排出量については、総排出量の約 48%を占めており、温室効果ガスの削減に最も大きな影響を与えています。基準年度と比べると温室効果ガス排出量は減少していますが、今後も積極的に使用量を削減していく必要があるため、職員に対する電気使用量削減のための取り組み策の周知等を行い、省エネを進める必要があります。

廃棄物の焼却による温室効果ガス排出量が増加したのは、一般廃棄物の量とそれに含まれる廃プラスチックの焼却量が基準年度に比べて増加したことに伴い、温室効果ガス排出量も増加したことが大きく影響しています。一般廃棄物、特に廃プラスチックの焼却に関しては、職員の取り組みだけで総量を削減することは、困難であり、市民や事業者の協力が不可欠となります。ごみの減量化については、市民・事業者に対するごみの分別と減量化に関する啓発活動を粘り強く行っていく必要があります。

このような中、2018（平成 30）年度は本計画に基づき、環境課では「群馬県環境にやさしい買い物スタイル普及促進協議会」と連携してごみの減量化に繋がるレジ袋の削減店頭啓発や、市内事業者を対象とした省エネ説明会の実施、食品ロスを減らすために群馬県主催「ぐんまちゃん食べきり協力店」の登録推進を実施しました。また、清掃センターでは一般廃棄物の排出量削減のために、廃食油の回収や剪定枝粉碎機の貸し出しによる剪定枝の堆肥化の推進を実施しています。市民や事業者への浸透は時間を要しますが、このような具体的かつ継続的な取り組みを行っていくことが市全体のごみ減量化に繋がると考えられるため、ごみ問題の意識が根付いていくよう啓発活動を続けていきます。

来年度は、市内から排出される温室効果ガス削減のために環境省「地方と連携した地球温暖化対策活動推進事業」を活用してレジ袋削減キャンペーン等を実施します。また、市全体の温室効果ガス排出量の抑制等を行うための藤岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）や第 3 次藤岡市環境基本計画を 2019（平成 31）年度から実施すべく策定作業を進めています。

本計画は、市役所の事務・事業に係るものであり、計画の推進には職員一人ひとりの取り組みが重要です。一方で、温室効果ガス排出に多大な影響を与えている一般廃棄物の焼却量は、一般家庭や事業所などから排出されるものを含んでいるため、市の取り組みだけでなく、市民や事業者の協力が不可欠となります。そのため、環境情報の提供を行うことによる、職員の意識高揚を図るとともに、市民、事業者に対する啓発活動を積極的に実施し、本計画に掲げる目標達成に向けて取り組みを進めます。

## 4 資料

### 資料1 対象施設一覧

No.	施設名	所管課	No.	施設名	所管課
1	本庁舎	財政課	39	老人福祉センター	介護高齢課
2	中庁舎		40	高齢者自立センター藤岡	
3	東庁舎		41	高齢者自立センター鬼石	
4	三波川東集会場		42	小野保育園	子ども課
5	平滑ゲートボール場		43	おにし保育園	
6	旧三波川幼稚園		44	みどの学童クラブ	
7	旧日野中央小学校		45	藤岡中央児童館	
8	旧日野西小学校		46	ららん藤岡	商工観光課
9	ゆったり館		47	ふじふれあい館	
10	みかほみらい館	48	土と火の里公園		
11	三波川第2コミュニティセンター	49	他観光施設等		
12	本庁舎(非常用発電装置)	総務課	50	農業研修センター	農林課
13	防災センター	地域安全課	51	蛇喰溪谷休憩所	
14	第1分回話所		52	藤岡かんがい排水施設	農村整備課
15	第2分回話所		53	他かんがい排水施設等	
16	第3分回話所		54	往還路灯等	土木課
17	第4分回話所		55	庚申山総合公園	都市施設課
18	第5分回話所		56	毛野国白石丘陵公園	
19	第6分回話所		57	藤岡総合公園	
20	第7分回話所		58	中央公園	
21	第8分回話所		59	城山公園	
22	第9分回話所		60	浅間公園	
23	第11分回話所		61	旭公園	
24	第12分回話所		62	北の原公園	
25	第13分回話所		63	美土里公園	
26	第14分回話所		64	城址緑地	
27	他消防施設等	65	烏川緑地		
28	偕同苑	市民課	66	神流川緑地	
29	清掃センター	清掃センター	67	市民プール(みずとびあ)	北藤岡駅周辺土地 区画整理事務所
30	鬼石資源化センター		68	他公園等	
31	コミュニティ・センター(やすらぎ)		69	北藤岡駅周辺土地区画整理事務所	
32	保美憩いの広場	健康づくり課	70	他排水施設等	地域振興課
33	保健センター		71	鬼石総合支所	
34	福祉会館	福祉課	72	桜山公園	にぎわい観光課
35	栗須の郷		73	自然活用管理センター(やどや)	
36	生活介護センター(もくせい)		74	体験学習館(MAG)	
37	障害者支援センターきらら		75	譲原農産物処理加工施設天神茶屋	
38	児童デイサービスセンターふらっと		76	平・根際農事集会所	

No.	施設名	所管課	No.	施設名	所管課		
77	宇塩山村活性化センター	にぎわい観光課	108	鬼石北小学校	教育総務課		
78	小平山村活性化センター		109	鬼石小学校			
79	妹ヶ谷山村活性化センター		110	東中学校			
80	他観光施設等		111	北中学校			
81	中央浄水場	経営課 浄水課	112	小野中学校		学校教育課	
82	北部浄水場		113	西中学校			
83	東部浄水場		114	鬼石中学校			
84	上の山浄水場		115	にじの家			
85	中倉簡易水道施設		116	藤岡公民館			生涯学習課
86	三友簡易水道施設		117	神流公民館			
87	芝平簡易水道施設		118	小野公民館			
88	鹿島簡易水道施設		119	美土里公民館			
89	塩平小水道施設		120	美九里公民館			
90	犬目簡易水道施設		121	平井公民館			
91	大板小水道施設		122	日野公民館			
92	妹ヶ谷簡易水道施設		123	鬼石公民館			
93	三波川中部簡易水道施設		124	藤岡市民ホール			
94	他上水道施設等		125	鬼石多目的ホール			
95	汚水中継ポンプ等	下水道課	126	上大塚東組集会所	学校教育課		
96	国民健康保険鬼石病院	鬼石病院 事務課	127	中原集会所			
97	介護老人保健施設鬼石		128	駒形集会所			
98	総合学習センター	教育総務課 生涯学習課	129	国指定史跡高山社跡	文化財保護課		
99	藤岡第一小学校	教育総務課	130	世界遺産高山社跡交流センター			
100	藤岡第二小学校		131	埋蔵文化財収蔵庫			
101	神流小学校		132	関東管領平井城址公園			
102	小野小学校		133	関東管領金山城址公園			
103	美土里小学校		134	他文化財施設等			
104	美九里東小学校		135	給食センター		学校給食センター	
105	美九里西小学校		136	(旧) 給食センター (第1、第2)			
106	平井小学校			137	図書館	図書館	
107	日野小学校						

2018年3月31日現在

資料 2-1 2017 (平成 29) 年度 活動別温室効果ガス排出量の内訳

種別	活動項目		活動量	単位	排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	構成比	
CO <sub>2</sub>	燃料使用量	ガソリン	82,842	ℓ	192,193	1.110%	
		灯油	220,669	ℓ	549,466	3.174%	
		軽油	58,122	ℓ	149,954	0.866%	
		A重油	31,000	ℓ	84,010	0.485%	
		液化天然ガス (L P G)	120,800	kg	303,207	1.752%	
		都市ガス	304,307	m <sup>3</sup>	654,260	3.780%	
	電気使用量	東京電力(株)	12,657,702	kwh	6,151,643	35.537%	
		エネサーブ(株)	3,303,171	kwh	1,628,463	9.407%	
		リエスパワー(株)	337,970	kwh	181,828	1.050%	
		(株)エネット	649,248	kwh	262,945	1.519%	
一般廃棄物 (廃プラスチック) 焼却量		2,417	t	6,695,090	38.677%		
CH <sub>4</sub>	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	204,396	km	51	0.002%
			軽自動車	287,027	km	72	
			普通貨物車	0	km	0	
			小型貨物車	111,915	km	42	
			軽貨物車	294,153	km	81	
			特殊用途車	17,947	km	16	
		軽油	普通・小型自動車	35,239	km	2	
			普通貨物車	127,892	km	48	
			小型貨物車	22,066	km	4	
			特殊用途車	39,785	km	13	
			バス	97,612	km	41	
			一般廃棄物焼却量	26,325	t	625	
	N <sub>2</sub> O	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	204,396	km	1,766
軽自動車				287,027	km	1,882	
普通貨物車				0	km	0	
小型自動車				111,915	km	867	
軽貨物車				294,153	km	1,928	
特殊用途車				17,947	km	187	
軽油			普通・小型自動車	35,239	km	74	
			普通貨物車	127,892	km	534	
			小型貨物車	22,066	km	59	
			特殊用途車	39,785	km	296	
			バス	97,612	km	727	
			一般廃棄物焼却量	26,325	t	444,800	2.570%
笑気ガス使用量		0	kg	0	0.000%		
HFC	封入カーエアコンの台数		230	台	3,289	0.019%	
合計 (CO <sub>2</sub> 換算量)					17,310,463	100.000%	

資料 2-2 基準年度 {2015 (平成 27) 年度} の活動別温室効果ガス排出量の内訳

種別	活動項目		活動量	単位	排出量	構成比	
CO <sub>2</sub>	燃料使用量	ガソリン	78,117	ℓ	181,231	1.086%	
		灯油	206,887	ℓ	515,149	3.086%	
		軽油	51,805	ℓ	133,657	0.801%	
		A重油	137,600	ℓ	372,896	2.234%	
		液化天然ガス (L P G)	57,710	kg	144,852	0.868%	
		都市ガス	334,876	m <sup>3</sup>	719,983	4.314%	
	電気使用量	東京電力(株)	13,574,861	kwh	6,855,305	41.071%	
		丸紅(株)	1,912,363	kwh	921,759	5.523%	
		エネサーブ(株)	1,261,108	kwh	799,542	4.790%	
		日本ロジテック協同組合	272,565	kwh	105,210	0.630%	
		(株)エネット	54,643	kwh	24,808	0.149%	
一般廃棄物 (廃 <sup>o</sup> ラフク) 焼却量		1,975	t	5,470,750	32.777%		
CH <sub>4</sub>	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	192,988	km	48	0.002%
			軽自動車	261,225	km	65	
			普通貨物車	0	km	0	
			小型貨物車	112,718	km	42	
			軽貨物車	282,571	km	78	
			特殊用途車	9,259	km	8	
		軽油	普通・小型自動車	0	km	0	
			普通貨物車	124,969	km	47	
			小型貨物車	21,336	km	4	
			特殊用途車	69,129	km	22	
			バス	111,782	km	48	
			一般廃棄物焼却量	25,650	t	609	
	N <sub>2</sub> O	自動車走行距離	ガソリン	普通・小型自動車	192,988	km	1,668
軽自動車				261,225	km	1,713	
普通貨物車				0	km	0	
小型自動車				112,718	km	873	
軽貨物車				282,571	km	1,853	
特殊用途車				9,259	km	97	
軽油			普通・小型自動車	0	km	0	
			普通貨物車	124,969	km	521	
			小型貨物車	21,336	km	57	
			特殊用途車	69,129	km	515	
			バス	111,782	km	833	
			一般廃棄物焼却量	25,650	t	433,398	2.597%
笑気ガス使用量		0	kg	0	0.000%		
HFC	封入カーエアコンの台数		222	台	3,175	0.019%	
合計 (CO <sub>2</sub> 換算量)					16,690,816	100.000%	

資料3-1 2017(平成29)年度の所属別温室効果ガス排出状況(CO<sub>2</sub>換算:単位kg-CO<sub>2</sub>)

所属名	燃料の使用						電気 の使用	廃棄物 の処理	その他*	計
	ガソリン	灯油	軽油	A重油	LPG	都市ガス				
秘書課	3,700	0	0	0	0	0	0		204	3,903
財政課	19,609	18,356	17,298	0	0	215	302,370		1,583	359,431
自治交流課	0	179	0	0	12	119,076	265,734		0	385,001
総務課	0	0	58	0	0	0	0		0	58
地域安全課	7,035	0	5,540	0	0	0	23,745		422	36,742
契約検査課	545	0	0	0	0	0	0		35	580
市民課	603	137,976	0	0	0	299	32,163		41	171,082
税務課	626	0	0	0	0	0	0		38	665
納税相談課	1,418	0	0	0	0	0	0		116	1,534
保険年金課	1,067	0	0	0	0	0	0		74	1,141
環境課	2,123	0	0	0	0	0	0		114	2,237
清掃センター	13,073	147,717	58,205	0	528	0	1,529,253	7,140,515	1,248	8,890,539
健康づくり課	1,021	0	0	0	0	217	0		81	1,319
福祉課	19,599	0	1,222	0	185	224,593	206,021		868	452,487
介護高齢課	7,927	19,835	1,207	2,710	218	168	36,840		518	69,424
子ども課	2,378	189	0	0	11,710	0	66,460		193	80,930
商工観光課	2,791	6,549	116	0	28,351	0	422,500		132	460,439
農林課	1,134	0	0	0	0	0	2,205		78	3,418
農村整備課	3,735	0	0	0	0	0	47,462		197	51,394
土木課	7,146	0	0	0	0	0	31,392		338	38,876
建築課	1,891	0	0	0	0	0	0		130	2,021
都市計画課	1,353	0	0	0	0	0	0		76	1,429
都市施設課	10,328	2,560	4,105	0	0	278,952	753,877		266	1,050,087
北瀬岡野周辺土地区画 整理事務所	1,148	829	0	0	34	0	8,168		82	10,261
地域振興課	5,737	0	691	0	311	0	27,495		315	34,550
にぎわい観光課	4,199	2,072	16,512	0	15,838	0	114,199		56	152,876
経営課	0	0	0	0	124	0	2,334,141		0	2,334,266
水道工務課	7,215	0	3,096	0	0	0	0		417	10,728
浄水課	14,661	0	0	0	129	0	0		622	15,411
下水道課	3,387	0	0	0	0	0	18,193		167	21,747
議事課	1,478	0	0	0	0	0	0		50	1,528
農業委員会事務局	626	0	0	0	0	0	0		42	669
教育総務課	7,519	1,897	26,757	0	0	243	861,177		1,126	898,720
学校教育課	1,485	58,288	0	0	1,596	0	8,567		151	70,088
生涯学習課	6,194	15,951	0	0	422	933	225,709		405	249,614
文化財保護課	10,289	0	1,367	0	0	0	81,040		471	93,167
スポーツ課	1,807	0	903	0	0	0	0		80	2,791
学校給食センター	900	0	619	81,300	180,874	0	310,082		95	573,870
図書館	1,274	0	1,006	0	0	29,565	57,832		107	89,784
鬼石病院	15,169	137,067	11,251	0	62,876	0	458,253		1,041	685,656
合計	192,193	549,466	149,954	84,010	303,207	654,260	8,224,879	7,140,515	11,979	17,310,463

※その他・排出活動が「自動車走行距離」「笑気ガスの使用」「封入カーエアコン台数」のもの(表2参照)

資料 3-2 基準年度 {2015 (平成 27) 年度} の所属別温室効果ガス排出状況 (CO<sub>2</sub>換算: 単位 kg-CO<sub>2</sub>)

所属名	燃料の使用						電気の使用	廃棄物の処理	その他*	計
	ガソリン	灯油	軽油	A重油	LPG	都市ガス				
秘書課	3,596	0	0	0	0	0	0		192	3,788
財政課	22,664	13,272	17,335	0	0	151	301,632		1,675	356,729
自治交流課	0	1,175	0	0	73	123,309	343,260		0	467,817
総務課	0	0	57	0	0	0	0		0	57
地域安全課	7,672	0	3,710	0	100	0	25,296		438	37,216
契約検査課	557	0	0	0	0	0	0		33	590
市民課	800	119,164	0	0	0	454	35,282		48	155,748
税務課	742	0	0	0	0	0	0		46	788
納税相談課	1,670	0	0	0	0	0	0		127	1,797
保険年金課	1,253	0	0	0	0	0	0		76	1,328
環境課	2,318	0	3	0	0	0	0		114	2,434
清掃センター	12,115	147,453	59,366	0	637	0	1,757,203	5,904,757	1,213	
健康づくり課	1,346	0	0	0	0	254	0		109	1,708
福祉課	10,707	0	0	0	84	271,579	277,565		556	560,491
介護高齢課	8,614	22,759	1,300	2,710	271	531	38,169		520	74,874
子ども課	2,793	50	0	0	12,629	0	66,948		284	82,705
商工観光課	1,578	5,822	0	0	34,897	0	454,717		69	497,081
農林課	1,346	0	0	0	0	0	2,130		72	3,547
農村整備課	4,002	0	0	0	0	0	10,140		187	14,330
土木課	7,313	0	0	0	0	0	29,907		340	37,559
建築課	3,422	0	0	0	0	0	0		193	3,615
都市計画課	10,267	2,637	3,369	0	107	301,346	730,787		305	1,048,820
北隣岡野町辺土地区 画整理事務所	1,299	209	0	0	36	0	8,308		80	9,932
地域振興課	7,371	498	815	16,260	93	0	52,381		376	77,794
にぎわい観光課	2,923	4,997	0	17,886	16,097	0	126,464		48	168,415
経営課	0	0	0	0	113	0	2,466,883		0	2,466,996
水道工務課	8,097	0	2,064	0	0	0	0		400	10,561
浄水課	12,366	0	0	10,840	0	0	0		511	23,717
下水道課	3,153	0	0	0	0	0	12,646		159	15,958
議事課	879	0	0	0	0	0	0		44	923
農業委員会事務局	383	0	0	0	0	0	0		28	411
教育総務課	6,677	1,992	29,990	0	0	269	944,099		1,170	984,197
学校教育課	2,114	61,558	0	0	1,226	0	8,117		151	73,166
生涯学習課	7,292	12,679	0	0	759	1,600	250,043		419	272,791
文化財保護課	6,832	0	1,084	0	0	0	81,116		373	89,404
スポーツ課	2,596	0	851	0	0	0	0		101	3,549
学校給食センター	872	916	929	325,200	13,399	0	177,239		86	518,641
図書館		0	1,091	0	0	20,492	55,335		75	77,837
鬼石病院	12,758	119,968	11,693	0	64,331	0	450,958		1,050	660,757
合計	181,231	515,149	133,657	372,896	144,852	719,983	8,706,624	5,904,757	11,667	16,690,816

※その他・排出活動が「自動車走行距離」「笑気ガスの使用」「封入カーエアコン台数」のもの(表2参照)

---

藤岡市地球温暖化対策実行計画  
2017（平成29）年度実績報告書

平成30年12月

発行 藤岡市 市民環境部 環境課

〒375-8601

群馬県藤岡市中栗須327番地

電話 0274-40-2264（直通）

FAX 0274-24-9268

Eメール

kankyo@city.fujioka.gunma.jp

---